

令和6年度 学校経営について

1 学校教育目標

確かな学力を身につけ、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

2 重点目標

- (1) 自ら学ぶ意欲を持ち、進んで学習する生徒の育成
- (2) 思いやりの心を持ち、自他の生命を大切にする生徒の育成
- (3) 幅広い知識や技能を身につけ、社会の変化に対応できる生徒の育成



3 生徒の行動指針 (栄中考動)

- (1) 気持ちのよい挨拶をする
- (2) 時間を守る
- (3) 黙動の清掃
- (4) 人の話をよく聴く

栄っこ宣言

- 1 おはよう ありがとう ごめんなさい
を言います
- 2 いじめはしません
- 3 人をいたわります
- 4 ひきょうなことはしません
- 5 ふるさと「栄」を誇ります
夢に向かってがんばります

4 目指す生徒像 (重点目標から)

- (1) 自ら学ぶ意欲を持ち、進んで学習する生徒の育成
 - ① 課題を見つけ、考え、学習に取り組む生徒
 - ② 目標を持ち、自学できる生徒
 - ③ 豊かな発想と表現力を持つ生徒
 - ④ 進んで読書し、自分の心を耕す生徒
- (2) 思いやりの心を持ち、自他の生命を大切にする生徒の育成
 - ① 人を思いやり、礼儀を大切にする生徒
 - ② 自他の安全と健康に気を配る生徒
 - ③ 不正なことに負けない強い心を持つ生徒
 - ④ 運動を好み、進んで体を鍛える生徒
- (3) 幅広い知識や技能を身につけ、社会の変化に対応できる生徒の育成
 - ① 基礎基本となる知識や技能を身につける生徒
 - ② 学び合い・話し合いを通して自らを向上させようとする生徒
 - ③ 自らの意志で奉仕活動に参加し、社会に貢献できる生徒
 - ④ 進んで情報を収集し、より良い判断と行動ができる生徒

5 経営の努力点

「全員による協働を通して『地域と共に成長する学校づくり』を進める」

①【学力向上】◎授業を大切にする

・授業規律の徹底

↳ 姿勢 ・ 離席時のマナー ・ 話者に体と視線を向ける ・ うなずき、反応 等

・「わかる授業」を推進

↳ ・スモールステップ ・ 板書の工夫 ・ ICT 活用 ・ 全国学力学習状況調査の活用

・小中連携の推進

↳ ・自分の言葉で振り返りを表現できる

・基礎基本の定着

↳ ・繰り返し指導する ・ 家庭学習の習慣化

②【地域の特色を生かした学校づくり】◎コミュニティ・スクールの強みを生かす

・体験学習の充実

↳ キャリア教育： ・ 日本食研プロジェクト ・ 職場体験 ・ 校外活動 等

・地域人材の活用

↳ ・学習支援 ・ 部活動 ・ 奉仕的活動 ・ 安全教育 等

③【特別活動の充実】

・生徒会活動による自治「的」活動の保障

↳ ・生徒集会 ・ 生徒会行事 ・ 専門委員会 ・ キャプテン会 ・ 学校のきまり見直し等

④【生徒指導】◎**栄中考動 SAKAE Thinking in Action**

・長欠対策

↳ ・ケース会議 ・ 「オアシス」運営 ・ SC/SSW 活用 ・ アウトリーチ型 等

⑤【特別支援教育】全教育活動に特別支援教育の視点を

・校内委員会の活性化

・外部機関との連携

↳ ・ 栄特別支援学校（センター的機能） ・ 特別支援アドバイザー 等

⑥【安全指導】◎**生徒の安全が最優先**

・自転車運転の安全確保

↳ ・交通安全教室 ・ スケアードストレイト

⑦【職員研修】資質・能力の向上

・ICTを活用した授業能力を高める。

・全国学力学習状況調査の結果分析

令和6年度 学校経営方針

I 学校経営の重点方針

- (1) 「すべては栄中生徒のために」を基本に指導を行う
- (2) 生徒の学力の向上をめざし指導力の向上を図る
- (3) 生徒の主体的活動の充実を図る【 栄中考動 SAKAE Thinking in Action 】
- (4) 道徳教育を充実し、いじめの根絶を図る
- (5) コミュニティ・スクールを核として、地域と共に成長する学校づくりを行う

II 学校経営重点方針具現化のための方策と到達目標

1 方策

(1) 「すべては栄中生徒のために」を基本に指導を行う

- ① 生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導と支援を行う
- ② 傾聴姿勢を貫き、生徒の自主性を大切にする
- ③ 同僚・生徒の姿から常に学ぶ姿勢を持つ
- ④ 生徒や保護者、地域の期待に応え、教育活動の見直しに努める
- ⑤ 組織の一員であることを理解し、進んで協働する
- ⑥ 挨拶や清掃、時間を守るなど率先垂範する

(2) 教師の指導力の向上と生徒の学力の向上を図る

- ① 授業・定期テスト・家庭学習を連動させる
- ② 生徒指導の機能を生かした「わかる授業づくり」を実践する
- ③ 学習意欲を高めるための教材・教具の工夫、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、補充・発展的な指導など指導方法の工夫改善に努める
- ④ 反復学習を通して基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させる
- ⑤ 思考力・判断力・表現力などの「活用する力」を育む指導方法の研修を行う
- ⑥ 全教師が特別支援教育の視点から一人ひとりの生徒に寄り添う指導を行う
- ⑦ ICT機器を有効活用する

(3) 生徒の主体的活動の充実を図る

- ① 生徒会本部、学年評議会、専門委員会、キャプテン会の組織・連携を見直し、生徒一人ひとりが活躍し、活動が見える生徒会活動の充実を図る
- ② 委員会活動等を通して、生徒の自治的活動を支援する
- ③ 部活動に主体的に取り組めるように支援する
- ④ 学校行事に主体的に取り組むことで、自主的・実践的な態度を身につけさせるとともに、感動体験を味わわせる

(4) 道徳教育を充実し、いじめの根絶を図る

- ① 「思いやり」の気持ちを持って人と接し、異なった考えや文化・習慣を受け入れられるように「人権尊重の精神」を育む
- ② 道徳の授業を通して「生命尊重」「思いやり」「公共心」等を重点的に指導し道徳的实践力を育成する
- ③ 学級活動の時間を充実させ、学級への所属感を強める
- ④ 定期教育相談やチャンス相談を充実させ、生徒との信頼関係を構築する
- ⑤ 生活ノートを活用し、生徒一人ひとりとのコミュニケーションを図る

(5) コミュニティ・スクールを核として、地域と共に成長する学校づくりを行う

- ① 授業参観、学校・学年・学級通信、ホームページ、学校行事等を通して本校の教育活動の周知を図り、開かれた学校づくりを推進する
- ② 学校評価の分析を行い、学校運営の改善に生かす
- ③ 地域の行事等にも積極的に参加させ、町民としての所属感を醸成する

2 到達目標

- ・安全教育の充実に努め、交通事故0件を維持する
- ・30日以上長欠者を20人以下にする
- ・県標準学力テストの成績が全学年・全教科県平均に近づけるようにする
- ・不祥事ゼロを維持する

3 不祥事の根絶を図る

- ① 不祥事防止研修会を通して不祥事に対する教職員の意識の向上を図る
 - ・体罰禁止・わいせつセクハラ行為の禁止
 - ・公金の適正な管理 ・情報漏洩の防止 ・飲酒運転の禁止
- ② モラルアップ委員会の積極的な取り組みにより人間関係を円滑にし、風通しのよい職場作りに努める
- ③ 研修会を通して、好ましい部活動運営の充実を図る

「すべては生徒のために」をモットーに、胸を張って教壇に立てる
教師からは不祥事は起こりえない」

【めざす教師像】

- 1 明るく元気で、前向きな生き方を示す教師
- 2 わかりやすく教え、教科指導に情熱を注ぐ教師
- 3 生徒の良さに気づき、伸ばすことのできる教師
- 4 自ら課題を持ち、常に研究と修養に努める教師
- 5 仕事に自覚と誇りを持ち、信頼される教師